

第2回「富士見丘小学校教育環境懇談会」概要

日 時	2013年11月12日（火） 13:00-15:00
会 場	富士見丘小学校 視聴覚室
出席者	委 員 8名 事務局 11名
配付資料	資料1 富士見丘小学校周辺環境図 資料2 富士見丘小学校通学路図 資料3 学校改築スケジュール（（仮）杉並和泉学園及び井草中の事例） 資料4 杉並区における学校改築、学校適正配置による統合、移転の事例等について 資料5 富士見丘小学校指定通学区域児童の在籍校 資料6 富士見丘小学校をとりまく諸事業のスケジュール
議事次第	1 開会・連絡事項 2 議題（資料説明・意見交換） ・富士見丘小学校の教育環境について ・その他 3 閉会

第2回「富士見丘小学校教育環境懇談会」議事録（要旨）

1. 開会・連絡事項	
学校支援課長	傍聴希望者の申し込みが3名あった。
都市整備部調整 担当課長	<p>放射5号線（放5）の改良事業について、11月6日と10日に東京都が説明会を開催した。2車線で暫定供用している本線を中央自動車道の高架下に集約し、4車線道路に改良するという、延長約900mの高井戸西区间についての説明である。両日も約80名の参加があった。以下、簡単に概要を報告したい。</p> <p>工事の概要は、車道の高架下への集約により、沿道環境の改善と両側に快適な歩道と自転車空間を確保するものである。4車線が高架下に来るため、交差点がコンパクト化されるというメリットがある。歩行者が車道を横断する距離も短くなる。自動車のUターンについては、高架下には専用レーンが物理的に設けられないため、遠回りになるが環8の中の橋交差点西側と浅間橋交差点西側にUターン路を設けている。工事は平成29年度に完成する予定と聞いている。</p> <p>将来の交通量の予測については、3地点が示されており、富士見丘小学校は断面Aの部分に該当する。平成29年度に放5が完成した時の予測値と、平成42年度に周辺の都市計画道路のネットワークも完成した時点の予測値である。現状については、資料に記載がないが、質疑応答の中で示されており、A地点は上下線合わせて約2万台前後、B地点は約3万台前後で、中央高速のオフランプからの流入があるため増えている。C地点で約3万5千台前後とのことである。</p> <p>大気汚染については、平成29年度と平成42年度のいずれも二酸化窒素（NO₂）と浮遊粒子状物質（SPM）の環境基準値をクリアしているとの説明があった。交通量は倍近くに増えるのだが、車道が離れることによる距離減衰効果や、高さ5m程度の遮音壁が設置されるので、排気ガスが拡散される効果があり、現状の数値よりも将来の数値の方が低くなるとの説明があった。東京都全体で見ても、ディーゼル車のSPM排出規制や低公害車の普及などもあり、10年前と比べて4割ほど削減されているとのことである。</p> <p>オフランプから来る車があったり、環8の中の橋交差点の右折信号が^{ふくそう}輻輳してたりすることで、昌栄橋を起点として三鷹側に渋滞が発生しているが、中の橋交差点を大々的に改良し、一度に両側が右折できるようにするなど、できるだけ放5側に渋滞を生じないような計画としている。自動車がスムーズに流れれば、アイドリング中の排気ガスも減り、沿道環境は改善されていくだろうとのことである。中の橋交差点は、都内でも事故ワースト1の交差点らしく、警視庁としても東京都としても交通安全を優先に改良を進めていきたいということで、歩道の樹木に若干影響が出る可能性もあるが、交通安全を優先して進めたいとのことだった。</p> <p>騒音、振動も、現状よりは若干増えるようだが、基準を下回るという予測である。住民側からは、交通量や環境変化に関する意見がほとんどで、それに対して東京都は上述のような説明で回答している。</p>

	高井戸オンランプの計画も質問があった。NEXCO中日本の担当者が来ており、オンランプの計画はあるが、過去の経緯もあるので、丁寧に説明しながら整備を進めていきたいという話をしていた。
委員	大気汚染の予測は、環境基準をクリアしているようなので問題はないのだろうが、交通量が2倍になるのに大気汚染が改善されるというのはどうしてか丁寧に説明しないと理解がえられないのではないか。
都市整備部調整 担当課長	遮音壁ができることや、現在の渋滞が改善されるというようなことも踏まえてシミュレーションしているようだ。住民からも説明の要望があるので、東京都としても引き続き説明していくとのことだ。
議長	次回の冒頭にでも、報告してもらおうとよいかも知れない。この懇談会でも十分に理解しておく必要がある。
議長	<p>前回の議事録が配布されている。前回は、この懇談会が設けられた背景や位置づけ、富士見丘小学校の立地的な特徴、通学路の交通安全対策、放5の環境影響予測、東京都が進めつつある高井戸公園の整備、区内の学校改築や設備更新等について意見交換がなされた。</p> <p>まず、放射5号線の4車線化と高井戸公園の整備という2つがあり、かつ富士見丘小学校がやがて建築後50年を迎えて、建替え等を検討する時期に来ているという3点が確認された。意見交換では、児童が世田谷区の小学校に通っている現状、区の施設が少ない地域であること、富士見丘小学校への交通安全が心配事であることが話された。また、放5事業に関わる東京都の地元への説明会への保護者の出席が多くないが、小学校を巡る環境変化の要素なので、保護者の関心を高めることも必要ではないかと議論もあった。さらに、こういう懇談会という機会なので、富士見丘小学校の学習環境について改めて整理して、子ども将来の育ちをどう学校や地域で支えていくか、その空間のあり方について議論しようという意見もあった。</p> <p>今日は、それを受けて、教育環境上の問題としてどういうものがあるか、どういう影響があるのか、さらには次回にかけて、どういう対応が取られる必要があるのかといった辺りに踏み込んだ議論をしていきたいと思っている。</p>
2 . 議題：富士見丘小学校の教育環境について（資料説明は略）	
（1）資料の確認・補足等について	
委員	資料4に示されている荻窪小学校の敷地は、実際はもう少し小さいだろう。移転すると敷地が大きくなるような印象を受けてしまうので、注意した方がよい。
学校支援課長	指摘の通りなので、修正するようにしたい。
委員	荻窪小学校が移転した土地はもともと区有地だったのか。
学校支援課長	民有地を区が購入したものである。
委員	資料5にあるのは、富士見丘小学校の学区域に住んでいる小学生は483人で、そのうち274名が富士見丘小学校に通っているという整理だと思うが、実際には290名以上が在籍しており、他校区から富士見丘小学校に通っている児童もいる。
議長	資料5について、他学区から富士見丘小学校に通っている児童も20名程度はいることを補足しておいた方が、誤解を招かなくてよいだろう。

(2) 他校への通学状況と今後の児童数の見通し等	
議長	平成28年度の新入学からは学校希望制度を原則終了するという事は、資料5に示されているような他校への通学状況はなくなっていくということか。
新しい学校づくり係長	学校希望制度の他に指定校変更制度というものがある。現在もある制度だ。学校希望制度は、希望して枠があれば要件を問わずに違う学校に行けるという制度だが、指定校変更制度は、例えば、途中で引越しをしたような場合に、上の兄弟が通っている学校に行く必要がある、交通安全上の理由で指定校とは違う学校に行きたいというような申請に対応する制度である。この指定校変更制度を拡充する。富士見丘小学校によその学区から来たいという人がいた場合、その理由として富士見丘小学校の教育のここがいいから変更したいという理由を示し、それが認められれば通えるようにする。学校希望制度は平成27年度で終わるのだが、指定校変更制度は現行よりも拡大されて残るので、他の区立小学校に通っている児童が全員富士見丘小学校に通うようになるかという、そうではないと思われる。それがどれくらいになるかは、実際にやってみないと読めないところがある。
委員	これまでは、申し込めば基本的に希望が通っていたが、これからは理由書を書いてもらい、それを学校が認めると入れるという制度になる。
委員	学校ではなく教育委員会が認めるのではないのか。
委員	理由書が妥当であるかどうかを校長に判断してもらうことにしている。
委員	そもそも学校希望制度は学校の特色を選べるというものだったのではないか。
委員	本来はそうだが、実際は希望すれば入れた。これからは理由を示す制度に変える。
委員	学校希望制度が廃止されても、指定校変更制度の枠を拡大するというのは、緩くするという意味と理解してよいか。これまでよりも緩くなるような印象を受ける。
学校支援課長	指定校変更制度の変更理由に「学校の特色ある教育活動等に参加を希望する場合」という項目をつけ加えた。これまでは学校希望制度で理由なしで行けたが、この学校にこういう特色があるから行きたいという理由がきちんとないと認められなくなる。少なくとも、例えばあちらの学校の方が校舎が新しいから、というような理由ではだめだということだ。
委員	現在、富士見丘小学校の学区内に483名の児童がいて、実際に通っているのは294名なので、200名弱の差がある。単純に考えると1学年30人くらいは他校に通っている計算だ。現在、富士見丘小学校は全学年が2学級で、わりとゆとりをもった運営ができていますが、もし、人数が増えて3学級対応になるとすると、教室が十分かどうか不安も残る。今後、未就学の子どもがどれくらい学区内にいて、将来的にこの人数がどう推移しそうかというような数字は持っているか。
新しい学校づくり係長	現時点で、希望制度がない場合にシミュレーションすると、富士見丘小学校は、学級数、児童数とも増加する見込みである。ただし、クラス定員等の詳細な設定を行ったものではないし、将来推計を加味したものでもない。地域によって差があるのだが、例えばワンルームマンションが多かったりすると、0歳から6歳になるまでに3割くらい転出してしまう地域もある。ここはそういう地域ではないと思うが、その辺りも加味して将来予測をしていく必要がある。

委員	学童クラブを校舎内につくるという話がある。希望制度がなくなり、学級数が増えるとなると、富士見丘小学校でも教室が足りなくなるのではないか。
学校支援課長	学童クラブについては、今後、建替える場合は、原則として学校内に入れていくということで、既存校でも可能なところは入れていくが、難しいところは今後の課題として、徐々に入れていく形だ。
学校整備課長	区の施設再編のことだと思うが、社会資源の有効活用という中で学童クラブと小学校の話も出てきた。いろいろな学童クラブを利用している保護者の意見等も考えて、基本的には学校と学童クラブは一緒の方がよいだろうというセット論の考えである。ただし、全校で実施可能かということ、空き教室の状況等を慎重に検討しながら、また地域の学童クラブの需要数等も調整しながら、進めていく必要がある。新しい学校をつくる時には、当然、設計の中で考えておくということだ。
議長	学童クラブのこと、将来的な児童数の変動、クラス数の変動という辺りは、非常に気になる大きな問題であることが指摘された。資料としては、学校希望制度のところで、なお書き程度で指定校変更制度の拡大について触れておいた方がよい。
(3) 富士見丘小学校の立地環境について	
委員	以前、学校に隣接する浅間橋公園を学校用地に組み入れて、土地を広くできないかという話があったようなのだが、その辺りは何か情報があるか。
新しい学校づくり係長	<p>昭和57年に陳情があった。当時、特別教室棟はまだなかった。1万㎡弱の用地があるのだが、環境対策の意味で植栽が多いということもあり、特別教室を拡張するために、隣接する浅間橋公園を校地として取得して、そこに特別教室棟と屋上にプールのある体育館を建てられないかという内容の陳情だ。3千人くらいの署名が集まった。古くからいる人は当時のことを記憶しているだろう。</p> <p>結論から言うと、これは難しい。都市公園法に基づいて開設されている区立公園なので、勝手になくすことはできない。浅間橋公園の面積は1,300㎡くらいなので、近傍に同程度の規模の公園がつくれれば可能性があるのだが、なかなか適地はない。もし浅間橋公園を学校用地に取り込むのであれば、1,300㎡程度の広さの土地を放5寄りのどこかに確保して公園にし、その分、学校を放5から離れた位置にするというようなことは、可能性としてはなくはない。だが、そうすると、現在はわりときれいな形になっている土地の形が不整形になってしまうし、浅間橋公園の形も富士見丘小学校の校地ほど東側まで区画されているわけではないので、土地の使い方も難しくなるだろう。現状としては、そんなに簡単なことではない。</p>
議長	陳情はあったが、開設公園の問題等があり、見送られたということか。そういう陳情があったということは、当時、校地が狭いという認識があったということか。
新しい学校づくり係長	小学校の面積としては平均的なのだが、使い勝手が悪いということが理由とされている。植栽面積が通常の2倍くらいあるので、その点も加味して考慮してほしいという陳情になっている。陳情は区議会で採択されたのだが、公園の問題があるので、簡単には解決できないため、将来的な課題とするという形になった。
委員	校地は杉並区内の小学校と比較しても、わりと広い方かと思うが、高速道路がすぐそばにあるということだろう。もっとも、校地は広いに越したことはない。

委員	植栽が多いのは、道路が近いからせめて自然を増やしたいということと、玉川上水沿いの桜を移植したというような話も聞いたことがある。
委員	確かに木は多いと思う。意識して植えられているのを感じる。
委員	他の学校のように正門から子どもが出入りすることができない。通用門のような北西門と東門しか使えず、門柱のある正門は車が入る時しか使わない。学校らしさという意味で、いつも裏から入ってくる感じになっていて、学校としての体裁が整っていないというイメージはある。正門が面した富士見ヶ丘通りは交通量があるので、入学式の記念写真を正門で撮ることができない。高速があり、歩道橋があり、横断歩道を渡ってすぐの通用門のところでは撮らざるを得ない。
議長	重要な指摘だ。周辺道路との関係で堂々とした入口がないというのは、現状の問題なのかも知れない。
委員	学校の通常出入りしているところの目の前に高速道路の橋脚がある。ミラーはあるが、子どもたちは学校から飛び出してくるので、何度かヒヤッとした思いをしている。また、学童クラブに行く時には歩道橋を渡っていくのだが、降り口に自転車が来ているのが見えない。児童は学童クラブに早く行きたいから走っていく。そこで自転車とぶつかりそうになった経験が何度もある。女性のスカートのことがあり階段の手すりを塞いでいるのだが、子どもたちが自転車を確認できるような見通しが取れるといいと思う。なかなか難しい問題だとは思いますが、とても怖い。
(4) 高井戸公園の整備との関連	
議長	資料のグランドデザインは、区の方針というわけではないという前提でよいか。
学校支援課長	その理解でよい。これを前提として進めていくというものではない。
学校整備課長	区が検討を委託して、提言をもらったものだ。区が決定したものではなく、その前段階として、周辺まちづくりをどうするかという議論のきっかけとなるものだ。提言の中身の何かが決定されたというものではない。検討すべき時期がくれば、この提言をもとに検討していくというものだ。
都市整備部調整担当課長	グランドデザインの扱いについては、議会でも、区の方針ではないが、課題については個別具体的に考えていくと答弁している。高井戸公園の整備の話があり、それを後押しする意味で将来像を検討してもらったという位置づけだ。
委員	平成21年3月の時期に答申が出たということは、それ以前に依頼をしているはずだが、そのきっかけは何だったのか。
学校支援課長	高井戸公園の計画がなかなか進まないという現状があり、都に検討を促す意味があった。
副議長	NHKグラウンドを手放すという話が出てきたからではないか。
委員	優先区域になったという時代の変化もあるわけだが、答申が出てから4年も手つかずの状態で放置されているのが不思議な感じがする。
委員	都への働きかけが功を奏して優先整備の対象となったのだろう。
議長	我々としては、これを参考にしつつ議論をすればよいだろう。こう書いてあるからそうしなければならないという話ではない。
副議長	2種類のパースが掲載されているが、その違いもわかりにくい。

学校整備課長	現在の富士見丘中学校に隣接して小学校を移転してくる形の案と、中学校を公園寄りに移転した上で、跡地を住宅地とする形の案の2種類である。
議長	杉並区として大規模企業用地(住宅用地)を取得するという記述があるが、それがこの絵と関わってくるのか。
学校整備課長	中学校と公園の間にある社宅のことを指しているものと思われる。それが絵では新しい学校になっている部分だ。グラウンドは高井戸公園に含まれる。社宅だけ残すのではなく、隣接する中学校用地と一体的に再整備した方がよいのではないかという提言である。
議長	提言は、中学校を移転して小中一貫校にするという考えもあるし、小学校は移転しないとしても、いろいろな活用ができるという考えのように読み取れる。
副議長	富士見ヶ丘通りの整備も考えて、中学校を社宅側に移して道路を広げたらどうかという趣旨もあるのだろう。
学校整備課長	富士見ヶ丘通りは狭くて相互通行で危ないというのが長年の課題で、これができるると富士見ヶ丘通りの拡幅もイメージして提言されているのだと思う。通りの東側の民家側に下がってもらうのは難しい。こういったきっかけがあれば、安全なエリアを広げて、道路を拡幅することも含まれてくる。
議長	公園用地は東京都が買収するし、極端に言えば収用なども可能だが、その他の用地取得は強制的に行うことはできない。ただ、小学校を移転するかどうかは別にして、可能性のひとつとして押さえておく必要があれば、懇談会の報告書でもそのことに目配りしておく必要があるかも知れない。
委員	これまではどうなるかと思っていたのだが、とりあえず、前に動き出した。徐々に動きつつあることを評価したい。先のことを考えれば、線路から南側の道路は拡幅できても、北側はどうなのかということもあるが、それはその時に考えればいいことだと捉えて、できるところからやっていくことが重要だと思う。
副議長	地域の人から聞いたところでは、公園区域にくさびのように入り込んでいる住宅地のところには、公園の買収の説明会があったようだ。
議長	公園整備については、おそらく企業用地のところはある程度のめどが立っているだろうが、住宅地等は相手があることなので、一度に全体が整備されるのではなく、買収できたところから部分的に整備していくことになるだろう。住宅地は、常識的に考えれば、時期的には後の方になるだろう。
委員	計画が決まってから完成まで数年の時間がかかる。公園事業が平成27年度までになっているが、それも留意しながら検討する必要があるのではないか。世の中の動きは、成長する方向に行かないような気もする。公園の範囲もここまで大きくなってもいいという判断になることもあり得るのではないか。できるところからやると言っても、もしひっくり返るようなことがあるともったいないと思うのだが、公園事業がはっきりしていなくてもこちらの検討を進めていくべきなのだろうか。
学校支援課長	やはり、できるところから考えていくことが大事だと思う。
議長	もし、将来、小中一貫校を公園の方に持っていきたいという話題が出た時に、社宅を区有地にして活用する場合を検討していないと難しくなってしまう。そういう

	意味では、今年や来年がある種のスタートの時期と言えるだろう。だからと言って、移転しなければいけないという話ではなく、活用の仕方は他にもたくさんあるというのがこの提言だ。我々としてもこの提言をうまく活用していくのがいいだろう。
(5) 教育環境に関する方針と懇談会の関係	
副議長	資料 6 スケジュールで、今年度に懇談会があり、同じ時期に「新しい学校づくり推進基本方針」や「杉並区立施設再編整備計画」等がまとめられるようだが、懇談会の内容をそれらに反映させることを考えるべきなのか。
学校支援課長	「新しい学校づくり推進基本方針」は杉並区全体の方針であり、富士見丘小学校の問題を盛り込むというようなものではない。
委員	この方針には全体の話も含まれるのだが、主に適正配置の方針だ。
学校支援課長	「杉並区立施設再編整備計画」は区全体のもので、間もなく広報に案が載る。学校も対象となる。
委員	ただし、富士見丘小学校の問題が第 1 期の計画に載ってくることはないだろう。煮詰まってきた段階で、改築の必要があるとなれば、載せていくことになるだろう。
(6) 保護者等への周知について	
議長	東京都から PTA への放 5 の説明が先行してあったとのことだが、その場の雰囲気などで紹介できそうな事柄があれば紹介してほしい。
学校支援課長	基本的には環境の話というよりも道路整備そのものの説明があった。
委員	口頭での説明はあったかも知れないが、交通量や大気汚染等のデータ資料の提示はなかった。車を運転する保護者がけっこういるので、住宅地に入ってくる車が増えるのではないかという不安が出ていた。放 5 で U ターンするのが面倒なので、住宅地に入ってきて方向転換する車が出るのではないかという心配も上がっていたが、東京都はそのようなことはないだろうという返事だった。
議長	前回の議論で、PTA として、保護者の関心喚起も考えたいという話があったが、何か進捗などはあるか。
委員	こういう懇談会ができ、次回はいつだというような、簡単なあらましを紹介し、傍聴もできるということは告知した。今回は保護者の傍聴希望はなかった。このような形で、会議があるごとに、必要に応じて資料もつけたりしながら、情報を出していき、意見を出してもらおうようなことは続けたい。
3 . まとめと次回に向けて	
議長	<p>将来の児童数がどうなるか、通学制度がどう変わるか、児童館が整備されていないというようなことは、ここでは議論しきれないが、そういう課題があるという指摘があった。合わせて、誤解のないように資料の補足的充実をお願いしたい。</p> <p>放射 5 号線については、説明会が開催され、都としての考えが公開された。まだ議論は続くようなので、それを整理しながらこの場にも報告してもらいたい。</p> <p>校地については、広さはまずまずだが、樹木が多く、校舎配置等に制約があるという問題、放射 5 号線や高速道路があるということも含めて十全のものではないし、周辺の交通の問題等から正門が正門として機能していないのは悲しいといった指摘もあった。周辺道路の環境が子どもたちの環境として不安なところがあるとい</p>

	<p>う指摘もあった。隣接する公園を買収して校地を広げてほしいという陳情がかつてあったというようなことも俎上に上がった。</p> <p>次回もさらに議論を深めたいが、やや性急すぎるかも知れないが、教育環境のあり方の議論を進める上で、いずれこの場所で建替えてよりよいものにするという際に、今の敷地だけではなく隣接する公園を含めて建て替えるというような考え方、グランドデザインの提案にあるような、小中一貫校等の構想のもとに移転改築するというような考え方もある。どれがいいというのではなく、それぞれにどういうメリットや課題があるのかということを経務局に整理してもらい、それを素材に議論を進めると、限られた時間で議論をする中で、問題が明らかになるように思う。出てきた資料をもとに、これはイメージが違うというところから始めるのでも構わないので、そういう問題整理をしてもらうことにしたい。</p>
副議長	<p>この場合は、基本となる方針に盛り込まれる意見を出している、方針づくりに関わっているという意識で、なるべく前向きにやっていくのがよいと思う。</p>
委員	<p>長いスパンで考えていくことと、社会情勢が変わっていくということを織り込みながら進めることが大事だと思う。</p>
議長	<p>次回の日程は12月13日（金）の15時を予定したい。</p>